

令和4年度事業報告

公益財団法人福岡県国際交流センターは、福岡県の持つ地理的、歴史的特性を生かし、県下の交流団体等と協力して県民主体の国際交流を推進することにより、国際交流における本県の拠点性を高めていくとともに、アジア諸国・地域をはじめとして世界各国・地域との交流を深め、もって相互の繁栄と世界の平和に寄与する。この遂行のため、アジア諸国・地域との交流促進、海外人材育成、在住外国人の支援及び海外県人会とのネットワークの構築など各種事業を実施した。また、公益財団法人として適切な財団運営に努めるとともに、福岡県パスポートセンターが行う旅券発給業務に伴う写真撮影販売業務に取り組み、県民への利便と自主財源の拡充を図る事業を行った。さらに国連人間居住計画（国連ハビタット）福岡本部の運営に係る支援を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、オンライン形式も取り入れながら事業を実施した。

事業概要

I 国際連携推進事業

1 地域間友好交流促進事業

(1) アジア友好交流事業

福岡県と友好提携を結んでいる地域との県民レベルでの交流を更に深化させるため、選抜された県内の高校生とバンコク都の高校生が、SDGsをもとにした高校生に身近な社会課題に関するテーマについて、専門家による講義やフィールドワークなどを通じてチームごとに英語でグループディスカッションを行い、自分たちが取り組めることや課題解決策について日本とバンコク都の両国で発表を行った。

ア バンコク都の高校生受入

受入期間 令和4年12月24日～29日

受入人数 学生10名

イ 県内の高校生派遣

派遣期間 令和5年3月21日～27日

派遣人数 学生10名

(2) 中国江蘇省友好交流事業

県民レベルでの交流を促進するため、関係機関との連絡・調整等支援を行った。

2 アジア相互連携基盤整備事業

(1) 国際交流団体支援事業

ア 地域国際化推進活動支援事業

県民の草の根レベルの国際交流促進を目的に、県内のNPO等国際交流団体が実施した活動に対し支援を行った。

支援対象 2団体

イ 国連ハビタット等への支援

ハビタット・デー記念事業の開催及び日本国際連合協会福岡県本部の活動に対して

支援を行った。

ウ インターナショナルスクールへの助成

外国政府（関係）機関、外国企業の誘致等、福岡県の国際化推進に不可欠な基盤施設である「福岡インターナショナルスクール」に対し助成を行った。

II 高度人材活用事業

1 海外人材育成事業

(1) 留学生支援連携事業

ア 福岡県留学生サポートセンター運営協議会事務局の運営

県、県内自治体、大学、経済界が参画する「福岡県留学生サポートセンター運営協議会」の事務局として、優秀な留学生の誘致から在学中の生活相談、卒業後の就職等、留学生に対し総合的な支援を行った。

イ 奨学金の支給

- ・ 福岡県国際交流センター留学生奨学金

学費の捻出が困難な県内の私費留学生の生活の安定に寄与するため、奨学金を支給した。

支給対象 福岡市外の私費留学生 20名

支給月額 2万円（1年間支給）

- ・ 福岡アジア留学生里親奨学金

民間の支援者（里親）からの寄付金を原資としたアジア地域出身の私費留学生向けの奨学金であり、経済的支援にとどまらず、支援者と留学生間の相互理解と交流を深めることを目的として、奨学金を支給した。

支給対象 アジア地域出身の私費留学生 29名

支給月額 2万円（1年間支給）

ウ コロナ禍における新型コロナウイルスワクチン接種支援

外国人留学生のワクチン接種を早急に進めるため、福岡ソフトバンクホークス（株）が実施する職域接種と連携して、接種を希望する日本語学校等の学生へのワクチン接種を支援した。

1回目 令和4年5月13日 40人

2回目 令和4年5月14日 4人

(2) 人材育成支援事業

国連ハビタット福岡本部と連携して、県内の若手技術者・経営者等を対象に、参加者自身が有する技術や知見、ノウハウを用いて現地の課題解決に貢献できる人材を育成するための研修プログラムを実施した。

派遣先国 カンボジア王国

派遣期間 令和5年1月8日～13日

派遣人数 6名

2 海外県人会人材育成事業

(1) 海外県人会人材育成支援交流事業

海外県人会会員の子弟に、大学等で専門知識や技能を習得してもらうとともに、福岡

県の文化、産業等への理解や県民との交流を深めてもらい、県人会を担う人材を育成するため、福岡県移住者子弟留学生を受け入れ、県内の大学へ1年間留学をさせた。

県人会名	人員	引受学校名
ブラジル福岡県人会	1名	九州大学大学院芸術工学府
在ボリビア福岡県人会	1名	九州産業大学芸術学部
メキシコ福岡県人会	1名	九州大学大学院人間環境学府
ペルー福岡県人会	1名	九州産業大学芸術学部
ハワイ福岡県人会	1名	福岡大学理学部
合計	5名	

(2) 海外県人会人材育成・活用推進事業

海外県会の次世代を担う中核人材を育成し、県会の活性化を図るとともに、本県と県会との交流の核となる人材を育成するため、次の事業を実施した。

ア 県人会担い手育成（子弟招へい）事業

県人会会員の子弟及び青年リーダーを本県に招へいし、小学校訪問・同年代の子供たちとの交流や、親戚等の訪問、日本文化体験等を実施した。

期 間 令和5年1月14日～24日

人 数 子弟14名、青年リーダー8名（8か国9県人会）

イ 県人会担い手オンライン日本語教室事業

子弟招へい事業参加予定の県人会会員の子弟を対象に、福岡への関心や愛着を抱いてもらうためにオンラインでの日本語教室を開催。

開催回数 6回×2グループ（延べ72名参加）

ウ 海外福岡県人会と連携した国際人財育成事業

グローバルに活躍できる人財を育成するため、福岡県出身者が活躍する企業県人会に大学生を派遣し、現地企業にて海外ビジネス体験を実施した。

派遣先国 オーストラリア連邦シドニー市

派遣期間 令和4年8月21日～27日

派遣人数 10名

エ 県人会ネットワーク活用事業

海外県会とのネットワークを活用して海外で活躍する福岡県人を講師として迎え、青少年を対象とするセミナーを開催した。

第20回（バンクーバー福岡県人会）

テーマ 「GenZ が活躍する舞台は丸ごとの地球！」

英語を自分の言葉にして、世界中の人と学び、遊び、働こう！」

開催日 令和5年1月12日

（県立久留米高等学校 参加者78名）

第21回（タイ国福岡県人会）

テーマ 「住所は地球～人見知りだった高校時代～」

開催日 令和5年1月19日

（県立玄界高等学校 参加者74名）

第22回（シドニー福岡県人会）

テーマ 「若いと言うこと」

開催日 令和5年2月20日

（私立筑紫台高等学校 参加者約1,040名）

Ⅲ 多文化交流促進事業

1 在住外国人支援事業

(1) 外国人相談事業

在住外国人の抱える諸問題について、当センターで様々な機関、団体等と連携しながら、問題解決のための支援を行った。

ア 「福岡県外国人相談センター」の運営

- ・ 外国人からの相談に、四者間通話を活用して、多言語（日本語を含む22言語）で対応した。
- ・ 福岡県行政書士会等の専門機関と連携し、県内各地域で出張相談会を実施した。
令和4年度実績 相談件数 1,041件

イ ウクライナ避難民への支援

「福岡県外国人相談センター」にウクライナ人相談員を配置し、行政書士等と連携を図りながら、在留資格変更手続や就労、教育に関する相談への対応や、県営住宅入居、日本語学習などに関する支援を行った。

ウ 専門機関との連携による相談対応

- ・ 専門機関との連携による「こくさいひろば」での外国人相談会への対応を行った。
（行政書士会 月2回/日本語、月1回/英語、中国語）
（弁護士会 月1回/日本語）
（法務局 月1回/英語、日本語）
- ・ ウクライナ人相談員、ベトナム人相談員、ネパール人相談員を配置し、ウクライナ避難民や在留外国人が母国語で相談できる体制を整備した。

(2) 外国語情報提供事業

在住外国人の居住利便性を高めるため、様々な情報を提供した。

- ・ 外国語新聞、雑誌を閲覧できるアプリやウェブサイトを案内し、情報提供を行った。
- ・ ホームページやFM放送により、外国人の生活支援情報等を提供した。

(3) 外国人災害時支援事業

福岡県災害対策本部の設置時に、福岡県と協力して福岡県災害時多言語支援センターを設置し、被災市町村からの要請による通訳・翻訳支援を行うとともに、災害関連情報を多言語にて発信した。

台風第14号の接近に伴い、令和4年9月18日から9月20日まで設置。

また、気象庁や外国籍被災経験者などを講師として招き、在住外国人と日本人ボランティアを対象に災害セミナーを開催した。

2 地域社会啓発事業

(1) 日本語教室ボランティア支援事業

在住外国人の日本語学習及び地域住民との交流の場である日本語教室ボランティアを支援するため、専門家によるスキルアップ講座や教室同士の情報交換の場を提供した。

- ・ ボランティアのスキルアップ講座（対面、オンライン開催）
 - 開催日 令和4年10月2日、11月27日
 - 受講者 52名
 - 開催日 令和4年10月22日、10月23日
 - 受講者 46名
 - 開催日 令和4年12月10日、12月19日
 - 受講者 36名
- ・ インターネット上の情報交換の場の提供
- ・ 「こくさいひろば」で開催される日本語教室（9団体）に会場・教材提供、広報支援等の便宜供与を行った。
 - 開催回数 634回
 - ボランティア数 延べ 2,723名
 - 学習者数 延べ 3,677名（46カ国・地域）

(2) 多文化交流地域づくり事業

ア 国際理解の促進

県民の国際化、国際交流に対する理解を深めるため、様々な団体と連携し講演会、セミナー、イベント等を「こくさいひろば」で開催した。

- ・ 「ハビタットひろば」（オンライン開催）
 - 開催日 年6回開催
 - 参加者 269名
 - 主催 （公財）福岡県国際交流センター、国連ハビタット福岡本部
 - 内容 国連職員等による世界での国連ハビタットの活動を紹介
- ・ 「こくさいひろばカフェ」（オンライン開催）
 - 開催日 年6回開催
 - 参加者 133名
 - 主催 （公財）福岡県国際交流センター
 - 内容 国際理解教育推進事業の登録講師が外国の文化や生活、活動を紹介
- ・ 「外国人材受入企業支援事業講習会および相談会」
 - 開催日 年7回開催
 - 参加者 27名
 - 主催 福岡県
 - 共催 （公財）福岡県国際交流センター
 - 内容 外国人が本県で就労するにあたり、その受入れ側である県内企業向け講習会を実施。外国人が在留資格の範囲内のその能力を十分に発揮し適正に就労できるよう、事業主が遵守すべき法令や雇用管理について啓発を行った。
- ・ 「EUのクリスマス」
 - 開催日 令和4年12月11日
 - 参加者 38名

主 催 福岡E U協会

共 催 (公財) 福岡県国際交流センター、九州大学E Uセンター (ジャンモネ CoE 九州)

内 容 E U出身の県内在住者2名が母国 (ギリシャ、ドイツ) のクリスマスを紹介

イ ボランティア活動の推進

県民の持つ能力を活かして、外国人との国際親善や国際交流を促進するため、ホームステイ・ホームビジットボランティアと通訳・翻訳ボランティアの登録・活用を行った。

・ 登録ボランティア数

ホームステイ・ホームビジットボランティア 7人

通訳・翻訳ボランティア 92人 (14言語)

(うち、災害時活動可能 75名 (14言語))

ウ 国際理解教育推進事業の実施

県内在住の留学生や青年海外協力隊等海外活動経験者等を小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、公民館などヘグスティーチャーとして派遣し、国際理解教育を行った。

また、国際理解教育の担い手を育成し、実践者のすそ野を広げるため、講師スキルアップ講座及び国際理解イベントをオンラインで実施した。

講師派遣事業実績 派遣件数 80件 派遣講師数 170名

講師紹介事業実績 紹介件数 29件 紹介講師数 50名

受講者 11, 717名

事例発表会 1回 (参加者41名)

講師スキルアップ講座 1回 (参加者22名)

国際理解イベント 1回 (参加者10名)

IV 国際情報拠点整備事業

1 広報・情報提供事業

(1) 広報事業

県民の国際化に対する理解と関心を深めるとともに、在住外国人に対し生活情報を提供するため、多言語 (日本語、英語、中国語、韓国語) で広報誌を発行した。また、ホームページにより、県内の様々なイベント情報を提供するとともに、インターネット等を利用した情報交換の場を提供した。

広報誌の発行

発行回数 年3回

発行部数 日本語3, 000部、英語2, 000部、
中国語と韓国語各1, 500部

配布先 賛助会員、市町村、大学、国際交流団体、その他関係機関等 (約500か所)

ホームページの運営

多言語対応 日本語、英語、中国語 (簡体字・繁体字)、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タイ語、やさしい日本語

(2) 情報提供事業

ア 各種相談サービス、資料閲覧等

福岡県の国際化推進のため、在日外国政府関係機関・国際交流関係団体等からの資料等、国際関係情報の提供を行うとともに、様々な相談に対応した。

イ 留学等説明会、相談会等の開催

在福外国公館や公的機関と連携して留学経験者の体験談や現地の最新情報を紹介する「留学体験談ひろば」をオンラインで開催し、留学情報の提供を行った。

開催日 令和4年12月17日

参加者 120名

ウ 日本国際問題研究所によるセミナーの開催

世界の政治・経済情勢や国際問題に関する県民の理解を進めるため、(公財)日本国際問題研究所研究員によるセミナーを開催した。

テーマ 「転換期を迎える日ロ関係」

開催日 令和4年8月19日

参加者 28名

テーマ 「日本を取り巻く安全保障環境－現状と日本の対応について－」

開催日 令和4年12月2日

参加者 37名

エ 「こくさいひろば」における無料インターネット接続サービスの提供

来館者の利便性向上のため、来館者への無料インターネット接続サービス (Wi-Fi) を提供した。

2 ネットワーク構築事業

(1) 国際交流ネットワーク事業

ア 県内民間国際交流団体調査

県内の国際交流関係団体の活動状況を調査、把握し、相互の連携・協力体制づくりを進めた。

イ 市町村国際交流協会連絡会の開催

県内の市町村国際交流協会との連絡会を開催し、ネットワーク化を図った。

開催日 令和4年12月6日

参加者 7団体、15名

ウ EU理解促進事業

県内の経済界を中心に会員を擁する福岡EU協会事務局として、EUに関する情報の収集や提供(会報発行/年2回)、文化・経済セミナーを実施した。

福岡EU協会設立20周年を記念して、総会・理事会と併せて記念講演会を実施したほか、20周年記念事業を実施した。

- ・「福岡EU協会 設立20周年記念講演」

開催日 令和4年7月4日

演 題 「日本・EU関係～激動する時代の戦略的パートナーシップ」

講 師 駐日欧州連合代表部 臨時代理大使 ハイツェ・ジーマルス氏

参加者 52名

- ・「Moi！フィンランドの現地から」オンライントークイベント
開催日 令和4年11月30日
参加者 24名
- ・スウェーデン映画「走れ、ウイェ！走れ！」上映会
開催日 令和5年2月8日
参加者 30名

(2) 移住地ネットワーク事業

福岡県移住者の発展を図り、福岡県との相互理解や交流を深めていくため、海外県人会世界大会や海外県人会の創立記念式典に訪問団を派遣するとともに、海外県人会との情報交換、情報誌の発行・送付及び海外県人会等の運営・活動に対する支援を行った。

ア 海外県人会周年事業への県訪問団派遣

- ・ブラジル福岡県人移住110周年及びブラジル福岡県人会創立90周年記念式典参加訪問団派遣
期 間 令和4年10月17日～25日
団員数 17名
- ・第11回海外福岡県人会世界大会参加訪問団派遣
期 間 令和4年11月15日～23日
団員数 30名
参加者 235名（9か国9県人会）
- ・メキシコ福岡県人会創立70周年記念式典参加訪問団派遣
期 間 令和5年1月27日～29日
団員数 19名
- ・在ボリビア福岡県人会創立50周年記念式典参加訪問団派遣
期 間 令和5年1月30日～2月5日
団員数 2名

イ 令和4年度福岡県海外移住長逝者慰霊祭

移住先国にて亡くなられた移住先駆者の霊を慰めるため、平尾霊園の「海外同胞者長逝招魂碑」において移住関係者ととともに慰霊祭を行った。（3年に1度実施）

開催日 令和4年11月9日
参加者 23名

ウ 海外県人会とのウェブ会議の開催

コロナ禍で往来できない中、海外県人会、福岡県の現状及び活動状況等について情報交換を行うため、ウェブ会議を開催した。

開催月 5月、1月、3月
参加者 16県人会

エ 情報の提供

福岡県の現状及び海外移住地等の紹介をするため、年4回、機関紙「筑紫」を100部作成し、海外移住者及び国内関係者に海外郵便事情を踏まえ電子データの配信又は配布を行った。

また、年4回発行の「グラフふくおか」電子版を海外移住者に配信した。

オ 県人会等活動費助成

福岡県移住者の発展を図る目的で、移住先国での海外県人会等の活動に対して助成

を行った。

カ 移住高齢者の顕彰

福岡県出身の移住者及びその子孫で高齢の者に対し、その長寿を祝い、長年にわたる苦労をねぎらうため、表彰を行い、本県出身移住関係者の発展及び友好親善を図った。

令和4年度海外県人高齢者の表彰人数

(単位：人)

県人会名	80歳	88歳	95歳	99歳	100歳	101歳～	合計
ブラジル	11	4	3			3	21
トメアスー		1					1
コロンビア	1						1
パラグアイ	1						1
アルゼンチン	1						1
メキシコ	1	2					3
ペルー	8					1	9
バンクーバー							0
レスブリッジ		2	1				3
トロント	1	1		1	2	1	6
ハワイ	5	1	1			1	8
ハワイ島	3	3	1	1	1	1	10
コナ	2	6	1		1		10
カウアイ	1				2		3
南加	7	1	1	3	1	3	16
サンフランシスコ							0
シアトル・タコマ							0
合計	42	21	8	5	7	10	93

V 国連ハビタット福岡本部運営支援事業

アジア・太平洋地域における開発途上国の居住問題を中心に、人々の生活全般の改善を図ることを目的とした国連機関「国連人間居住計画(国連ハビタット)福岡本部」の運営に係る支援を行った。

VI 収益事業

アクロス福岡内の県パスポートセンターが行う旅券発給業務に伴う県民サービスの一環として、自動写真撮影機を設置し、写真撮影販売の収益事業を行い利用者の利便を図るとともに、自主財源の確保に努めた。